



カトリック長崎大司教区 広報委員会
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
Tel. 095-843-3869
Fax 095-843-3417
振替口座 01880-5-2699
発行人 山田良秋
印刷所 株式会社 インテックス

祈りの意向
・教皇
・日本
教会がシノドスの新生活様式を維持し、司祭・修道者・信徒の参加と交わりをもって使命を押し進めることができるように。
教皇フランシスコの意向に合わせ、日本の教会がキリストを信じる世界の教会と共に歩むことができるように。

# 大村殉教祭

## 歴史振り返り、殉教者の信仰思う



台風10号が長崎県にも接近し、その影響が残るのではないかと心配されましたが、9月1日(日)、第46回大村殉教祭は、シーハットおむらさくらホールで440人あまりの信者が集い、無事に開催されました。日本のキリスト教の礎の地であり205福者殉教者をはじめ多くの信者の尊い殉教の地である大村において開催されるこの殉教祭は、殉教者の歴史を振り返り、殉教者の信仰を思いながら、今を生きている私たちの在るべき姿を考へてみる良い機会になっ



たのではないのでしょうか。殉教祭に先立ち、殉教記念ミサの導入としてプレレゼンテーションが行われました。今年は「神様と一致した生き方を貫いた殉教者(郡崩れ)をテーマに企画されました。その背景には、大村の巡礼地の一つであり、608人が捕らえられ、洞窟と云われている「仏の谷」のことを、皆さんにもっと知ってもらいたいという思いがありました。この「仏の谷」は、大村市を通る国道44号沿いの萱瀬ダム近くの「ふれあい広場」から徒歩で約20分



植松教会広報部
とができるように共に祈りをささげましょう。
(写真は、中村倫明大司教の司式でささげられたミサの様子と、プレレゼンテーションの最後に行われた子どもたちによる聖歌の発表)

度度登った山中にあります。その経路はとて傾斜が厳しく、歩いて登るには非常に体力を要しますが、このように険しい場所だからこそ、キリシタン禁令が出された以降も、熱心なキリシタンは、人目のつかない洞窟などを利用して、ひっそりとお祈りを続け信仰を守ってきました。厳しい弾圧の中においても、山奥でひっそりと信仰を守り続けていた私たちの先祖がいたことを、ぜひ心に留めていただければと思います。来年もぜひ大村殉教祭でお会いしましょう。そして、信仰を証した殉教者に敬うこ

### 救いを望む神のみわざ

#### 十字架山殉教祭

9月8日(日) 14時、厳しい残暑の中、殉教祭への参加のため、約60人の信者が十字架山(長崎市辻町)に集まった。この十字架山殉教祭は、昨年は浦上四番崩れによる流配「旅」からの帰還の節目「旅の終わり150周年」を記念する行事の一つとして長崎教区主催で行われたが、今年も以前と同じように浦上小教区をはじめとする長崎中地区の教会が中心となって呼びかけ、実施された。



具を救いの道具にされた。そこには、キリストを信じる者が一人も滅びないことを望みになっておられる神様の愛が表れています。裁きではなく救いを望んでおられる神のみわざ、それが十字架架には手を広げたキリストがおられます。そして浦上の信徒たちが、追害下7世代にわたって絵踏を続けてきた罪の償いと為政者たちの罪のゆるしを願ってこの地に十字架を建てたことに触れ、これからも十字架山を大切にし度々訪れて祈り続けるようにと語った。最後に、自分にとって十字架は何を意味しているか、気づきとなる手立てを投げかけ、説教を結んだ。

浦上教会信徒の森田浩介さんは、「信徒たちがどんな思いで、ほとんど機械もない中どのようにして十字架山を築造したのか。根本に感謝と贖罪の気持ちがあったのだと思いがすが、時代の違いとはいえず、これほどまでに人は団結できるものなのか、当時の人々の優しさ、絆の強さがそうさせたのでしょうか。この地を訪れて祈るだけでなく、当時を想像し、感じることがあると思います」と語った。

### ほしかげ

昨年の10月に長崎で初めのリック障害者連絡協議会の大会が行われて、もう一年が経つ。大会ではさまざまな意見交換がなされたが、その中で個人的に興味を引いた内容がある。それは大会参加者から見る現在の日本の教会の姿である。教会を好意的に捉える人もいれば、行きづらい場所として考える人もいた。それは教会内における人間関係がひとつの理由として挙げられるようだ。教会を訪れた際に、教会におられた人に優しくしていただいた方もいれば、障がいを理解されず奇異な目で見られた方もいた。だからこそ教会は障がいが必要であるとの結論が話し合いの中で出ていた。この結論に関して自身、猛省しなければという思いとともに、別の意見にも目が留まった。それは「お互いを知ろうとする大切さ」という意見であった。障がいが無かったとしても、誰もが元気に過ごしているわけではない。悩みを抱えて過ごしている人もいれば、人間関係で深く傷ついて過ごしている人もいて過ごしている人もいます。また「〇〇教会の若く元気な人」でもない。誰もが名前を持って生きていて、それぞれ別の苦悩や葛藤を抱えている唯一無二人なのだ。私自身そのことを忘れないように心掛けた。(希)

## 2025聖年

バチカンで今年12月24日に開幕
世界各地の教区12月29日にミサ



「希望の巡礼者」をテーマとする2025聖年。今年5月9日に教皇フランシスコは大勅書「Spes non confundit(希望は欺くことはありません)」を発表された。これを翻訳した冊子「希望は欺かない」二〇二五年の通常聖年公布の大勅書は7月下旬、カトリック中央協議会から発行され全文は同協議会ウェブサイトからも読むことができる。

教皇は「この聖年は全教会にとって恵みと希望の濃い体験となるということを確信し」(大勅書6)と述べている。バチカンのサンピエトロ大聖堂の聖なる扉が今年2024年12月24日に開かれ、それをもって通常聖年が開幕すると伝えられている。聖年は2026年1月6日、主の公現の日に聖なる扉が閉じられることをもって閉幕する。また世界各地の教区については、2024

## 2024年度長崎カトリック神学院 一泊体験入学のご案内

日程 10月26日(土) 13時~ 27日(日) 12時まで予定
場所 長崎カトリック神学院 (長崎市橋口町)
対象 小学5年生~中学3年生
問合せ・申込先 各小教区の主任司祭までお願いいたします。
\*各小教区にお配りする(案内も合わせて)確認ください。

## 長崎教区青年の皆様へ 長崎青年の日「希望の巡礼者 — ともに歩むキャンプ」

2025 聖年のテーマでもある「希望の巡礼者」に合わせ、青年たちとともに巡礼と一日キャンプとを計画しております。お問い合わせ・お申し込みは、各地区の担当司祭または大崎教会 (Tel. 0956-47-6188) までお願いいたします。皆様の参加をお待ちしております。
教区青少年委員会 委員長 川端志範

教会でこのポスターをチェック!
日時 2024年11月3日(日) 12時~19時
場所 大平作業所跡(長崎市西出津町)
対象 18歳~40歳のカトリック信者(高校生不可、独身者) ※求道者の場合は主任司祭の推薦があれば可
参加費 1,000円(筆記用具、ミサに必要なもの、祈り書、歩きやすい靴など持参)
問合せ・申込先 各地区の担当司祭または大崎教会 (Tel. 0956-47-6188)

# シノドス第16回通常総会・第2会期

## ともに歩む教会のため

### 10月2日から27日までバチカンで開催

「ともに歩む教会のためー交わり、参加、そして宣教ー」をテーマに、2021年10月から全世界の教会が進めてきた世界代表司教会議(シノドス)第16回通常総会。この第2会期が10月2日から27日までバチカンで開催される。今回のシノドスは、教区での分かち合いと意見交換(教区ステージ)、大陸ごとの総会と作業(大陸ステージ)、バチカンでの総会議(2会期)という三つの段階に分かれ、これらが一つの大きな歩みとして行われている。まもなく開会する第2会期を前に、準備文書「世界代表司教会議第16回通常総会 第2会期の討議要綱」とその「要約」(2024年9月3日と9月6日に公開)全文はカトリック中央協議会ウェブサイトに掲載などを読み、引き続き全世界の教会とともに歩みましょう。



シノドス総会第2会期 2024年10月(10月2日~27日)
シノドス総会第1会期 2023年10月(10月4日~29日)
大陸ステージ 2022年8月~2023年3月
教区ステージ 2021年10月~2022年8月

9月6日、日本カトリック司教協議会会長の菊地功大司教は「日本の教会のみならず」に宛てて、「シノドス第16回通常総会第2会期の始まりにあたって」と題する文書を発表した。

「昨年の第1会期同様、日本からは司教協議会の代表としてわたしが、また教皇様からの任命で西村桃子さんが、さらに顧問としてシスター弘田しずえさんが参加いたします。

第2会期の土台となるのは、先日日本語が公開された『討議要綱』です。長い文章ですが、その要約を作成しました。(中略) さて今回の第2会期ですが、しばしば話題に上がる具体的な課題について参加者が意見を交わし、決定をする場ではありません。そのように理解されて、具体的な課題についてのご意見をわたし宛にご送付くださる方もおられますが、残念ながらそういった課題について意見を交換する場とはなりません。ご存じのように、第1会期で指摘された様々な具体的な課題に

1. 東方諸教会とラテン教会の関係性の諸相(「まとめ」6項)
2. 貧しい人の叫びに耳を傾ける(「まとめ」4、16項)
3. デジタル環境における宣教(「まとめ」17項)
4. 宣教するシノドスの観点からの、「司祭養成基本綱要」改訂(「まとめ」11項)
5. 特定の奉仕職の形態に関する神学的・教会法的事象(「まとめ」8、9項)
6. 宣教するシノドスの観点からの司教・奉獻生活・教会諸団体の関係性に関する文書改訂(「まとめ」10項)
7. 宣教するシノドスの観点からの、司教の人格と奉仕職の諸相(司教職候補者の選定基準、司教の法的機能、使徒座訪問「アドリミナ」の性質と経過)(「まとめ」12、13項)
8. 宣教するシノドスの観点からの、教皇の代理者の役割(「まとめ」13項)
9. 議論の分かれる教義的、司教的、倫理的諸課題について、共同識別するための神学的基準とシノドスの方法論(「まとめ」15項)
10. 教会実践における、キリスト教一致の旅がもたらす現実の受容(「まとめ」7項)

さて、まもなく始まる第2会期の一番の目的は、「宣教するシノドスの教会となるには、いまわたしたち教会は何に取り組み、どのようにあることが必要なのかを、参加者が共に祈り、黙想し、聖霊の導きを識別することにあります。ローマの会場の祈りと識別がふさわしく行われるように、教会全体で思いを同じくして、祈りによって支え合うことが重要です。また、このたびのシノドスは、ローマでの会議で終わるものではなく、これから先の教会の歩むべき道のりを見極め、それに沿いながら皆で歩み続けるために行われています。すなわち、これで終了するのではなく、これからが本番です。

その意味で、司教協議会のシノドス特別チームが作成したハンドブックや、ホームページで邦訳を提示している様々な文書は、これから長年にわたっての教会のための道しるべとなります。いまからでも遅くありません。是非手に取って、共に歩みを始めましょう。」

\*第1会期の「まとめ」文書は中央協議会ウェブサイトを確認できる。

上記の文書の中で触れられているように、シノドス特別チーム(昨年末に日本カトリック司教協議会に設置された)が作成した「世界代表司教会議第16回通常総会 第2会期のための討議要綱(Instrumentum Laboris)の要約」も、同じく9月6日に公開されている。一部抜粋する。

「宣教的でシノドスの教会になるにはどうすればよいか?」これが、2024年10月2日から27日まで「ともに歩む教会のためにー交わり、参加、宣教」というテーマで予定されている、2023年に続くシノドス世界代表司教会議第16回通常総会の第2会期で取り扱われる『討議要綱』の出发点となる基本的な問いかけです。この文書は、昨年の10月に開催された第1会期の成果、教区司祭の国際会議(2024年4月29日から5月2日までローマ、サクロファノで開催)、教皇の指示の下に2023年の第1会期から浮き彫りにされたいくつかの問題を深めてきた10の研究グループの成果など、そして今年の6月に開催された神学者たちのグループによる討議と研究、こういったものの成果を統合したものです。

「希望の巡礼者」最後に、この文書に示されているどの質問も、教会への奉仕を生きたためであり、今の時代に深く傷ついた傷を癒やしてくれる可能性を秘めている点が指摘されています。そして、『討議要綱』は2025年の聖年のために示されている「希望の巡礼者」の観点から、旅を続けましょうという招きで締めくくられています。

「要約」は、『討議要綱』の文書が「序論」「基礎的理解」「中心となる3つの点」の5つの部分で構成されていると述べている。そして最後に次のように記されている。

「希望の巡礼者」最後に、この文書に示されているどの質問も、教会への奉仕を生きたためであり、今の時代に深く傷ついた傷を癒やしてくれる可能性を秘めている点が指摘されています。そして、『討議要綱』は2025年の聖年のために示されている「希望の巡礼者」の観点から、旅を続けましょうという招きで締めくくられています。

教皇の招きによって、2021年10月に始まり24年10月まで続くシノドスの歩み。繰り返して伝えられている通り、ともに歩む教会の旅路はこれで終わりではなく、これからも続く。

### シノドスのための祈り

Adsumus Sancte Spiritus

(聖霊よ、わたしたちはあなたの前に立っています)

聖霊よ、わたしたちはあなたの前に立ち、あなたのみ名によって集います。わたしたちのもとに来て、とどまり、一人ひとりの心にお住まいください。わたしたちに進むべき道を教え、どのように歩めばよいか示してください。弱く、罪深いわたしたちが、一致を乱さないよう支えてください。無知によって誤った道に引き込まれず、偏見に惑わされないよう導いてください。あなたのうちに一致を見いだすことができますように。わたしたちが永遠のいのちへの旅を続け、真理と正義の道を迷わずに歩むことができますように。このすべてを、いつどこにおいても働いておられるあなたに願います。御父と御子の交わりの中で、世々とこしえに。アーメン。

内科・循環器科  
医療法人 **平田クリニック**  
院長 ヨゼフ 平田哲也  
通所リハビリテーション  
上野町グループホーム・サービス付き高齢者住宅  
長崎市上野町1-5 TEL 095-845-6175

2024年4月から相続登記の義務化スタート  
これまでの相続も対象  
相続した不要な土地の国庫への帰属手続、遺言書作成など  
まずは、お電話を!!  
**司法書士 山下 緑 事務所**  
ミカエル 山下 緑  
〒854-0014 諫早市東小路町10-21 電話 0957-22-6177

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付  
白蟻防除施工士  
**大田白蟻研究所**  
代表者 大島和彦  
(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号  
営業時間 095-822-8436  
FAX 095-822-8488

注文家具の店 家庭祭壇・聖具・祭壇・長椅子・朗読台  
**佳織木工所**  
《家庭祭壇ギャラリーOPEN パンフレットもごさいます。》  
〒857-0032 佐世保市宮田町7-7  
☎0956 (23) 1867 代表 ヨハネ 濱口 知博

なが さき せき ちよう  
**長崎石彫**  
ヨゼフ 岩永 貴弘  
☎(095)862-2469  
長崎市花園町23-17 立岩公園前

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋網  
**エテルナ・ワコー(株)**  
代表取締役 ドミニコ 溝口悦雄  
〒858-0926 佐世保市大湯町511番地3  
TEL(0956)47-4380



Alay Kapwa 教育財団のロゴ

# 「アライ・カプア」活動開始から1年

## お告げのマリア修道会の取り組み

### ③ 最終回



写真④奨学金を受け勉強中の学生と会員ら。⑤奨学金を受けて大学を卒業した子どもたち。

私たちが関わっているアライ・カプア教育財団は、教育部門と販売部門の2つの活動から成り立っています。

教育部門では前回紹介した給食サービスと遊びの部屋のほかに、教育を通して貧しさから抜け出すことを支援するために、小学生から大学生への奨学金給付があります。たくさんのお母さん方が「アライ・カプアの奨学金のおかげで子どもたちは勉強することができ、今ではエンジニアや学校の先生になることができ

た」と、涙ながらに話してくれました。また、各地を訪問した際には実際に奨学金で勉強している大学生とも会う機会をいただき、彼ら自身からも感謝の言葉を聞くことができました。

販売部門では素敵なオリジナルの小物や、タマリンドキャンデー、ジンジャーパウダーなどを作って販売しています。日本の幼稚園などからも注文を受けて国内での販売に協力していただいています。

私たちの活動は小さなものではありますが、国境を越えて、でもとても近く兄弟姉妹と共に歩むシノドスの教会を目指しながら、これからもお告げらしく励みたいと思います。

お告げのマリア修道会  
林さゆり



オンラインで参加した高校生ら(下五島・福江)

私たちが、この活動を一人でも多くの方々に伝えるためにインスタグラムで発信しています。また、資金への継続的な協力を頂くために「アライ・カプア友の会」を立ち上げました。この活動、特に教育部門は皆様方からの寄付金で成り立っています。こちらもQRコードを読み取り内容を閲覧いただけます。



CMA

## WYDの体験を聴くなど

### 教区高校生黙想会

教区青少年委員会は教区高校生黙想会を8月11日(日)に開催し、カトリックセンターに9人、下五島地区オンライン会場の福江教会に17人が集まりました。

「マリアは出かけて、急いで山里に向かった」をテーマに、2023年WYD(ワールドユースデー)リスボン大会に参加した神学生と青年が体験を分かち合いました。海外の信仰への向き合い方や、同じ信仰のもと教区や国を超えた交流ができた喜びの体験談に、「教会は祈りの場であり交流の場であることに気づかせてもらった」「祈りに言葉や文化の壁はない」ということばがとても印象に残った」など感想をいただき、2027年に開催されるWYDソウル大会に「参加してみたい」という前向きな意思も確認しました。

教区青少年委員会  
川端志範



センターから移動し、大司教館でミサも(長崎)

9月3日逝去。91歳。1932年五島市生まれ。58年初誓願、76年終生誓願。

人生のほとんどを幼児保育にささげ、子どもたちや保護者を温かく見守り、信念と大きな愛をもって保育者を育てた。また、修道院院長の任務も長年



奥浦ヤス修道女  
(お告げのマリア修道会)

「カトリック施設では方々を応援する意味でも皆様に募金をお願いすることといたしました」

大分教区の募金受付開始については同日、カリタスジャパンのウェブサイトでのお知らせが出された。送金先は次の通り。

務め、共同体をまとめる傍ら、志願者の発掘・有期誓願者の養成に力を注いだ。84歳で院長・園長を退任し、福岡コレジオで2年間神学生たちと生活した。今年4月、神ノ島修道院に異動し、海のそばの景色と畑作業を満喫していたが末期がんと宣告され、7月年の黙想の後、関わりのおつた方々に直接、間接にお礼を述べ、8月に入院した。その生き方は最後まで変わらず、御父に信頼し、従順を生きた。9月5日、お告げのマリア修道会大聖堂で行われた。

▼教区司祭黙想会 10月15日(火)～18日(金)、カトリックセンター。

▼愛芸トリニテ展(愛知県立芸術大学卒業3人展) 10月17日(木)～31日(木)、長崎南山美術術館。S.浦田カズ代(純心聖母会)と2人の作家による作品展。10時～16時開館(最終日15時30分まで)。10月24日(木)は休館。

▼司教座聖堂献堂記念ミサ 11月1日(金)朝6時、浦上教会。

## 核をテーマにしたフォーラムに参加

### 高見大司教、被爆者の思い訴え

米国ニューメキシコ州サンタフェ大司教のジョン・ウエスター大司教の招きを受け、胎内被爆者でもある高見三明名譽大司教は9月3日(火)から10日(火)まで現地を訪れた。高見大司教は、人類初の核実験の現場などを見学し、6～7日はアルバカーキのニューメキシコ大学で「核軍縮と核抑止」のテーマで開催されたフォーラムに参加して被爆者としての思いを訴えた(記事は次号掲載予定)。

ウエスター大司教は、核兵器廃絶に向けた具体的な行動を起こして、昨年と今年の8月には長崎を訪れ平和の実現を強く訴えている。

2020年  
「被爆75年から5年間のチャレンジ」  
<https://nuclear-free.net/>  
核なき世界基金

## 平和の尊さを考える

### 8月、高校生10人が沖縄へ

8月17日(土)～19日(月)、教区平和推進委員会の主催で沖縄平和学習が行われた。高校生10人、中村倫明大司教を含む15人が参加した。

3日間の行程では、広大な米軍基地や沖縄戦の激戦地である嘉数高台公園、沈没した疎開船(対馬丸)の記念館などで説明を聞き、展示資料を通して平和の尊さについて考えた。埋め立てが進む辺野古の米軍基地を見渡す浜辺では、反対運動を続けておられる地元の方から詳しい説明を受けた。貴重な生物多様性が残されている海の埋め立てを緑の山を削ってまで強行されていることに對する憤り、沖縄に課せられている



参加した高校生たち(8月18日、名護教会)

マの中で過ぎなければならぬ状況を作り出したとも言えます。ここを出てからも一人ひとりの使命を果たせるよう世の光クリストに願ひましよう」と呼びかけた。

「話を聞くだけでなく、実際にその場所にいることで、当時のことをより想像して考えることができた」(参加者Nさん)

被爆80年を迎えようとする中で、戦争の痛ましい悲しい記憶を受け継ぎ、平和な世界をつくる働きへ広げていきたい。

「うまんちゅの願いは一つ、『ぬちどう宝』―ウエイン・F・バートン司教様(那覇教区)の祈りより

教区平和推進委員会  
鍋内 正志

「ガマ洞窟」では、暗闇の中で祈りをささげた。祈りをリードした中村大司教は、「わたしたちの心の闇が、このようなガ

## 日向灘地震 募金受付

### 大分教区

最大震度6弱を観測した8月8日向灘地震について、大分教区は被災地の状況を確認後、同教区の皆様に宛てて8月21日付で「支援募金のお願ひ」を伝えた。

## 人事異動・任命

(一)は備考など

▼教区(9月7日付) (1)は9月21日着任  
下山 盛朗師 長崎北地区長代行 (出津主任兼務)  
稲田 伸也師 滑石協力司祭(1) (大司教秘書、教区書記官兼務)

▼韓国殉教者聖職修道会(9月7日付)  
姜 吳勳師 滑石主任代行 (滑石助任)

\*川原拓也師(長崎北地区長、滑石主任)は病氣療養のため大司教館へ。

## お知らせ

「二葉募金の支援状況」  
8月8日発生の日向灘地震によって被害を受けた教会やカトリック幼稚園の復旧支援のために、長崎教区は8月23日、一葉募金から200万円を大分教区あてに送金した。

日向灘地震 募金受付 今年12月末日まで  
日南教会のため  
日南・飲肥カトリック幼稚園 園舎復旧のため  
郵便振替 01520-2-2404  
加入者名 カトリック大分司教区 カトリック大分司教館  
\*「日向灘地震復興支援」と明記してください。

## 教区生涯養成委員会主催 2024年度カトリック公開講座のご案内

「信仰生活の基礎」をテーマに開催してまいりましたカトリック講座(全10回)は、最終回に「諸宗教対話～異宗教間の一致を目指して～」をテーマにデ・ルカ・レンゾ神父様(イエズス会司祭)にご講話いただきます。現代を生きる私たちキリスト者は、社会生活の中で他宗教との対話が求められています。どの宗教にあっても共通点は祈ることにあります。キリスト教のみならず、他宗教における生き方、死生観などに触れることによって私たちの祈りと信仰の歩みも一層深められるのではないのでしょうか。

生涯養成委員会 山添克明

- ◆講師 デ・ルカ・レンゾ師(イエズス会司祭) ◆内容 諸宗教対話～異宗教間の一致を目指して～
  - ◆日時 2024年11月2日(土)10時～12時
  - ◆場所 カトリックセンターホールまたはオンライン受講(長崎3地区以外の各地区、個人など)
  - ◆受講料 1,000円 2024年度分のカトリック講座を履修の方は受講料は不要です。
  - ◆申込先 カトリック長崎大司教区 生涯養成委員会 Fax 095-841-7732 cnsy.kouza@gmail.com
  - ◆問合せ先 Tel 095-841-7731
- 申込〆切 2024年10月10日(木)
- \*申し込みは「申込用紙」または右の → フォームからお願いいたします。当日の講座の録画配信はありません。



# 夏、佐世保で上五島で 子どもたちの 交流会や黙想会

## 子ども交流会

8月18日(日)、今年も「佐世保地区子ども(小学生)交流会」が佐世保市総合グラウンド体育館で行われた。

子どもたちの信仰養成と交流を目的に実施され、120人ほどの小学生が参加した。集まった子どもたちは12のチームに分かれ、ミニゲームが



元気にゲームに挑戦(佐世保)

## 新刊良書

★めくってたいのしいし  
かけえほんクリスマス

絵本ロザリナ・ボン  
ネット、デザイン・カ  
シア・ドウジウク、訳  
ドン・ボスコ社



「しかけをそつとめ  
くってみよう!」なにが

みえるかな? むかしむ  
かし、いちばんはじめの  
クリスマスのおはなしで  
す! リズムのよい言葉で  
楽しく読める。全文ひら  
かな、幼児向け(3歳)。  
ドン・ボスコ社、税別  
1300円。



皆で祈り、学び、歌う(上五島)

設置された各場所(ボス  
ト)をめぐる、それぞれ  
のゲームをクリアし、スタ  
ンプを集めながら、互いに  
協力して交流を深めた。

## 小学生合同黙想会

8月19日(月)青砂ヶ  
浦教会で上五島地区小学  
生合同黙想会が行われ、  
約60人が参加した。

テーマはミサ。新しい  
ミサ式次第の祈りの言葉  
の確認と聖歌の練習が主  
な内容。数年間、祈りを  
唱えることも聖歌を歌う  
ことも制限された子ども  
たちへ「大切なこと」を  
伝えたいと、地区カテキ

スタと司祭団の協力での  
開催となった。  
元気な声で祈りに応  
え、子ども特有の清らか  
な声で聖歌を歌い、司祭  
の説明にしっかりと目を向  
け、耳を傾けている子ど  
もたちの姿には心動かさ  
れた。  
普段は少人数での教会  
学校とミサへの参加と  
なっているが、同じ信仰  
を持つ仲間が集まって共  
に祈り、学び、ご飯を食  
べ、遊ぶ体験は夏休みの  
最後の思い出になっただ  
けでなく、これからの大  
きな糧になっていくこと  
だろう。(上五島地区)

## カトリックセンター

### 今に続く

### これまでの歩み見つめて④

1969  
1970  
1971  
2024...

カトリックセンターはオーブ  
ン以降、長崎教区の信者を中心  
に教会内外の人々に利用され、  
話し合いの場、活動の場、研修の  
場、宿泊の場として親しまれて  
きた。  
オープンから4年後、今から  
約50年前の1975(昭和50)  
年はちょうど聖年にあたり、こ  
の年はセンターでも記念行事が  
開催された。準備に関する話し  
合いの記事も『カトリック教報』  
に掲載されている。来年2025  
年に聖年を迎えることから、  
関連記事の一部を紹介する。



「75年」1月14日午前、カ  
トリックセンターで開かれた  
長崎地区司祭団定例会(コン  
ベンツ)で、里脇大司教  
より今年度の教区レベルの諸  
行事や会議について諮問があ  
り、次のような年間行事案が  
承認あるいは申し合わされ  
た。  
一、二十六聖人殉教記念ミサ  
2月5日  
実行委員メンバー  
教区司牧企画室長、二十  
六聖人記念館館長、浦上  
中町・大浦・鮑の浦・稲  
佐・城山・西町各小教区  
の主任司祭、委員長は中  
町教会主任

二、全国聖年記念行事  
3月17日、大浦天主堂、カ  
トリックセンター、浦上  
天主堂で開催

三、司祭叙階式  
3月19日午前10時、浦上  
天主堂  
四、司祭黙想会  
6月10日午前13日午  
前まで、カトリックセン  
ター  
五、司祭評議会  
6月13日午後、カトリッ  
クセンター  
六、聖年・大聖体行列  
実行委員会を設置して、  
準備に取り掛かる。  
七、司祭評議会  
八、青年研修会  
九、各教会信徒代表会議

七・八・九については、今  
後検討し、具体化する。  
その他に、絶版になってい  
る教区祈祷書を、多数の要望  
にこたえて、印刷することが  
決定した」  
3月17日の行事後、75年4  
月号に報告記事が掲載。セン  
ターで開催された「聖年記念  
式典」については次のように  
あった。

「昨年(74年)12月号で既報  
の通り、大浦における信徒発見  
の記念日3月17日、全国からの  
巡礼団を迎えて、次のような聖  
年行事を計画し、準備を進めて  
いる。  
同日午後12時30分大浦天主堂  
前庭でプチジャン司教像の除幕  
式が里脇大司教司式で挙行さ

信徒約400人が参加し、キ  
リストの兄弟としての一致  
を深めた。  
式典は聖年行事委員長・  
中島万利師の開会のことば  
に始まり、主催の里脇大司  
教が信仰のふるさと長崎を  
紹介しながら歓迎あいさつ  
を述べ、信愛幼稚園児がか  
わいい着物姿で花束を贈呈  
した。  
続いて、田口枢機卿と教皇  
庁大使のメッセージで聖年  
巡礼の意義と「人類の和解  
と刷新」について、平易に、  
しかも深く説かれ、白柳大司  
教の感謝のことばで第一部  
を終えた。  
アトラクションとして、シ  
スターたちが「旅」をうた  
いあげた浦上讃歌をうつく  
しく唱い、長崎カトリック合  
唱団がステージで二部コー  
ラスを聞かせ、しばし憩った  
後、片岡弥吉教授が「長崎に  
おける信仰の遺産」と題し  
て講演し、殉教者の尊い血に  
よって養い培われた長崎の  
信仰と、隣りながらも再びキ  
リストのもとに立ち帰るた  
くましさとお恵みとを  
祈るように説かれ深い感銘  
を与えた。  
最後に使徒職教区評議会  
長が「キリストと共に、兄弟  
の輪をひろげよう」と訴え  
て閉式した。

カトリックセンターは、19  
75年の聖年、2000年の大  
聖年の時を教区の中で共に経  
てきた。2025年1月末にはセ  
ンター内事務所の移転が完了す  
るとされている。教区が体験し  
た出来事と常に一緒にあったセ  
ンターの存在を心にとめたい。  
\*引用箇所は一部編集済み。

「聖年記念式典  
(3月17日)午後3時か  
らカトリックセンターに  
田口枢機卿、教皇庁大使、  
里脇大司教、白柳大司教、  
平田司教を迎えて式典が  
行われた。東京教区11  
0人を中心に、仙台、四国、  
大阪、福岡各教区からの巡  
礼団と、平戸、五島、長崎の



**カリス通信 10月号**  
社会福祉法人に関わる保険のご紹介

社会福祉法人の事業は、児童福祉や老人福祉等多岐にわたるため、様々なリスクがあります。あらゆるリスクに対応する保険をご紹介します。

**<役員賠償責任保険>**  
職員を含む第三者および法人から役員個人が提訴された場合において、役員個人が責任を負った場合の損害賠償金・争訟費用等を補償します。資産運用に失敗して損害賠償を提起された場合等に対応します。

**<介護サービス事業者賠償責任保険>**  
介護サービスは、介護施設の欠陥、入浴介助時のケガ、利用者の行方不明に伴う経済損失等様々なリスクが存在します。事業の遂行に伴う各種対人・対物事故等を包括的に補償します。

※本ご案内は「役員賠償責任保険」「介護サービス事業者賠償責任保険」「サイバーリスク保険」「医師賠償責任保険」の概要をご紹介します。ご契約にあたっては、必ず「重要事項説明書」をご確認ください。

カトリック共済システム 有限会社カリス 連絡先 ☎0120-77-0033

＜サイバーリスク保険＞  
個人情報の漏えいが発生した場合の「個人情報保護委員会への報告」「被害者本人への通知」が義務化され、多くの個人情報を取り扱う社会福祉法人にとって情報管理は重要な課題です。情報漏えいにより顧客から訴訟を受けた場合などの損害賠償、不正アクセス等に起因する「不正アクセス対応費用」、再発防止費用等を補償します。

＜医師賠償責任保険＞  
医師の医療行為ミスにより生じた患者の身体障害についての損害賠償責任を補償します。

ご不明点や詳細につきましては、カリスまでお問い合わせください。

私たちが、大澤阿紀子 大西 兎 毛利玲子 守ります。服部秀昭 川口 薫神父(顧問)

24TC-002587 (2024年8月作成) リスク・補償に関してお気軽にお問い合わせください

主の平安  
カトリック式葬祭・飾付一式

**(有) 栄光式典社**

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二

長崎市 辻町7-18 TEL(095)844-4011  
24時間営業 FAX(095)843-9896

世界平和へ祈りを...

**明治石材**

業務内容  
お墓建立  
納骨堂販売  
お墓のリフォーム  
霊名彫刻

電話 (095)846-3598  
電話 (0957)50-3008

長崎本店 長崎市城栄町13-1  
大村店 大村市赤佐古町287番地  
HP http://meijisekizai.shopinfo.jp